



日本鍛工 創業100周年

for the next century

1世紀企業の誇りを胸に



本 社 ・ 工 場 〒660-0095 尼崎市大浜町 2 丁目 1 番地 TEL. 06-6416-1051 (代)
Head office and Plant 2-1 OH-HAMACHO,AMAGASAKI, 660-0095
URL : <https://www.j-d-f.co.jp>



ご挨拶

100年の歴史と伝統に感謝、 次の100年に向けて自ら考動

日本鍛工株式会社は、昨年(2024年)に創業100周年を迎えることができました。100周年という大きな節目を迎えることができましたのも、ひとえに永年にわたり弊社をご愛顧いただきましたお客様、そして当社の発展に多大なる貢献をいただいた先人達と現社員のおかげであり、心より感謝を申し上げます。創業者柴柳新二翁が、弊社の前進である「恩加島鉄工所」を創業した1924年(大正13年)は、関東大震災の翌年であり阪神甲子園球場(当時甲子園大運動場)が開場して間もない頃でもありました。以来100年の間には、世界恐慌・第二次世界大戦・戦後の企業再建整備法による3工場分離・大同特殊鋼完全子会社化(大阪証券取引所第2部上場廃止)・リーマンショック・大型台風被害・新型コロナウイルス感染症等幾多の荒波があり平坦な道のりではありませんでしたが、先人達の卓越した先読み・深読み能力の発揮とぶれない改革の結果、現在の事業に至っております。

今日自動車業界は、CASEに代表される「100年に一度の大変革の時代」に入っていると言われています。内燃機関部品を扱っている弊社にとってその大きな変化点のひとつが電動化であり、近い将来内燃機関継続有無が弊社事業のターニングポイントにならざるを得ない状況になると考えています。このような機構変化に対応するためにも、鍛造技術を活用した新規市場開拓へのスピード感ある行動が必須となります。足元次の100年を見据えて「昨年創業100周年、新たな未来へ前進。自動車業界大変革期を勝ち抜く企業価値の創造」の経営スローガンと「危機意識・当事者意識・問題意識を持って自ら考動」の行動指針のもと、弊社は新たな一歩を踏み出しました。やはり時代の変化を敏感に察知しながら、お客様の痒いところに手が届くような御用聞き的な会社を目指したいと考えています。

先人達が創り上げた100年の歴史と伝統に感謝するとともに、次の100年に向けてこれからも更にQCDSと信頼に磨きをかけ、お客様に愛され社会の発展に貢献できるよう社員一丸となって邁進する所存です。

今後とも皆様方のより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、100周年のご挨拶といたします。

日本鍛工株式会社
代表取締役社長
野口 裕明

祝辞

未来を切り拓く日本鍛工の 新たな挑戦に期待を寄せて

日本鍛工株式会社の創業100周年、誠におめでとうございます。
日本鍛工がこの一世紀にわたり、鍛造技術の研鑽と品質向上に真摯に取り組まれ、日本のものづくりを支えてこられたことに、心より敬意を表します。

鍛造は素材の強度や信頼性を高める極めて重要な加工技術であり、自動車、産業機械、エネルギーなど、社会の基盤を支える製品に欠かせない工程です。日本鍛工は国内最速レベルの自動プレス、高歩留を追求したフォージングロール工法、CAD/CAM/CAEを駆使した金型の内製化など、常に高い技術力と現場力を発揮し、国内外の多くの顧客から厚い信頼を得てこられました。

また、日本鍛工の製品には当社が製造する特殊鋼鋼材が多く活用されており、素材と加工技術の相乗効果によって、より高性能で信頼性の高い製品が生み出されています。さらに、日本鍛工の縦型プレスで鍛造される製品は、当社の横型鍛造製品、東洋産業のリングロール製品と並び、大同特殊鋼グループの型鍛造事業を支える重要な役割を担っています。このような連携は、グループとしての強みを最大限に発揮する好例であり、今後さらに深化させていきたいと考えております。

日本鍛工と大同特殊鋼は、グループの一員として共に歩みを進めてまいりました。日本鍛工は、大同特殊鋼グループの製品開発や品質向上において欠かすことのできない存在であり、今後の成長戦略においても極めて重要な役割を担っていただくものと確信しております。昨今、製造業を取り巻く環境は急速に変化しており、カーボンニュートラルの実現、デジタル技術の活用、グローバル競争の激化など、企業には柔軟かつ迅速な対応が求められています。こうした中であっても、日本鍛工は常に前向きに挑戦を続け、技術革新と品質向上に努めておられます。その姿勢は、次の100年に向けた力強い一歩であり、当社としても大いに期待をしております。

100周年という節目は、過去の歩みを振り返るとともに、未来への飛躍を誓う重要な機会です。これまで築かれてきた信頼と実績を礎に、次の世代へ技術と志を継承し、より一層の発展を遂げられることを心より願っております。今後とも、グループ一丸となって、共に社会に貢献できる企業であり続けましょう。改めて、創業100周年を心よりお祝い申し上げます。

大同特殊鋼株式会社
代表取締役社長執行役員
清水 哲也

日本鍛工の歴史

主な沿革

拠点・施設・設備の変遷

1924年(大正13年)～ 1930年(昭和5年)～ 1940年(昭和15年)～ 1950年(昭和25年)～

黎明期

創成期

1924	1927	1930	1934	1937	1938	1939	1942	1945	1946	1948	1950	1952	1954	1957	1958	1959
退職し創業(個人経営) (現株クボタ)を 柴柳新二が(株)久保田鉄工所 恩加島鉄工所創業	鉄道省指定工場となる	製造開始 HAPPY印作業工具	柴柳新二、社長就任 恩加島鉄工所を法人に改組	柴柳新二社長就任 本社・東京へ 日本鍛工(株)設立	日満鍛工(株)設立	陸海軍の共同管理工場に指定	日本鍛工解散式 終戦により生産停止	日本鍛工機械(株)設立	尼崎工場再開	尼崎工場、民需生産工場に指定	企業再建整備法により 3工場分離	本格的な会社再建へ 日本鍛工の賠償指定解除	記念式典開催 創業30周年 社名を日本鍛工(株)に復帰	柴柳新二胸像除幕式	柴柳社長急逝	柴柳徹郎社長就任
創業者 柴柳新二		取引開始	三菱自動車工業 (1932年頃～)	マツダ (1936年頃～)												



創業時の恩加島鉄工所全景



新工場建設
南恩加島町に1千坪の



神崎工場竣工
本社移転
東京出張所開設
川崎工場竣工
自動車産業確立のため



川崎工場



尼崎工場(現本社工場)竣工
日本鍛造工業専門学校開校
秦野工場本格始動



秦野工場



鍛造工業専門学校
創立記念(帝国ホテル)



フォーシンググロウル稼働
オイムコ社製

大 正

昭 和

そのころ

1923	1924	1924	1927	1930	1931	1933	1937	1940	1941	1943	1945	1947	1950	1950	1951	1953	1956	1957	1958
関東大震災が発生	阪神甲子園球場完成	パリオリンピック開催	大西洋単独横断飛行成功 リンドバークが	大阪で初の地下鉄開通(梅田・心斎橋) 満州事変 第1回FIFAワールドカップ開催			日本初のテレビドラマ放送 日中戦争	日本初のテレビドラマ放送	日米・日英開戦	黒澤明監督『姿三四郎』公開	ポツダム宣言受諾・終戦	日本国憲法施行	朝鮮戦争勃発	『東京キッド』公開 美空ひばり主演	第1回NHK紅白歌合戦放送	でテレビ中継開始 全国高等学校野球選手権大会 第35回	5月12日の阪神・巨人戦で 阪神甲子園球場ナイター開き	石原裕次郎主演『嵐を呼ぶ男』 大ヒット	フラフープ発売、大ブームに 東京タワー竣工

1930年代『昭和モダン』が花開く
※和洋折衷の近代市民文化が台頭

●大都市を中心に大量消費
社会が本格化●ジャズやシャ
ンソンが蓄音機やラジオ放送
により普及●ハリウッド映画
が日本進出、チャップリンの
来日もこの頃●オムライスやカ
ツレツなど洋食メニューが人
気に●三ツ矢サイダー・カル
ピス・サントリー角瓶・森永
キャラメル等、現在も人気の
商品が多数発売される。

1940年代、暮らしの中に戦時標語

戦時下では、国民の戦意高揚等のため『ぜ
いたくは敵だ!』『欲しがりません勝つまで
は』といった「戦時標語」が盛んに作られ
街中でみかけられるようになっていた。

日本鍛工WEBサイトにて
coming-soon!



<https://www.j-d-f.co.jp>

日本鍛工の歴史動画公開!

第二次世界 大戦 (1939-45)

高度経済成長期(1955~)

日本鍛工の歴史

主な沿革

拠点・施設・設備の変遷

1960年(昭和35年)～

創成期

1960	1961	1962	1963	1964	1966	1968	1969
第1回柴柳賞授賞式開催	無災害75万時間達成	輸出第1号契約成立	業務協定 日本鍛工と新日本鍛工が	大同製鋼と業務提携 丸林豊社長就任 株式会社設立 日鍛不動産	コンロッド契約成立 米国カミンス社と	輸出売上1億円突破	通産大臣表彰 輸出貢献企業として



無災害 75 万時間達成



大同製鋼と業務提携

1963	1965	1966	1967	1968	1969	1971
プレス導入初号機 A3000トプレス稼働(A30)	東京支店開設 広島出張所開設 鳴尾寮竣工 型彫設備を増強	近畿ビル竣工 N2000トプレス稼働(N20)	マイプレス8000ト新設	竣工 厚生会館	A3500トプレス稼働(A35)	分譲開発されたマンション



近畿ビル



A3500 トプレス

1970年(昭和45年)～

飛躍期

1974	1976	1977	1978	1980	1981	1982	1984	1985	1986	1988	1989
記念式典開催 創業50周年	不動産部を新設 日鍛不動産を吸収合併し、 柴柳徹郎社長、小野会長就任	分譲住宅の販売開始 不動産部において	西独よりコンロッド受注 8年ぶりの株式配当実施	丸林豊元社長急逝 日鍛株、異常高値を記録	日鍛旧友会発足	温閉閉塞鍛造の技術研究開始 北堀運河の護岸敷工事完成	創業60周年記念式典開催 ファミリークラブを新設	取り組む チタンコンロッド鍛造に 小野前社長逝去	日鍛興産株式会社設立	生産管理システムスタート 電算室設置	

1974	1978	1980	1981	1983	1986	1990
プレス稼働(E40) 大同製鋼より移設E4000ト	金型工場の設備増強	武庫川社宅A棟竣工 インダクシオンヒーター新設 台湾に豊鍛工業を開設 フォーjingグロウル新設	武庫川社宅B棟竣工	4000トプレスに設置 NC旋盤設置ロボット導入、 機械加工工場竣工	当時の日本鍛工	(AJAX製) 2基稼働開始 A2000ト、2A3500ト S4000トプレス稼働(S40)



分譲開発されたマンション



当時の日本鍛工



S4000 トプレスライン



A2000ト



2A3500ト

昭和

平成

1960	1961	1964	1965	1966	1967	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	
カラーテレビでの放送開始	ガガーリンが名言を残す 打ち上げ成功「地球は青かった」 世界初の人を乗せた人工衛星	『東洋の魔女』が金メダル 東京オリンピック日本女子バレー 東海道新幹線開通	名神高速道路が全線開通	ビートルズ来日	人口1億人突破	全共闘が安田講堂占拠	日本万国博覧会(大阪万博)開幕	アポロ14号、月面着陸 三島由紀夫が自決 ハイジャック事件 日本航空機よど号	沖縄返還、あさま山荘事件	オイルショック	長島茂雄選手 現役引退	山陽新幹線・岡山駅・博多駅間	五輪史上初十満点で 体操女子ナディア・コマネチが モントリオールオリンピック	世界新記録756号達成 王貞治選手がホームラン 金メダル獲得 五輪史上初十満点で 体操女子ナディア・コマネチが モントリオールオリンピック	三浦和義ロス疑惑事件	ガンブラブーム	火災が発生 ホテルニュージャパン	全世界的ヒットに ファミコン発売、	東京デイズニランド開園	ロサンゼルスオリンピック グリコ森永事件	阪神タイガース初の日本一 日本航空123便墜落事故	男女雇用機会均等法施行	大韓航空機爆破事件	青函トンネル開通	天安門事件、ベルリンの壁崩壊

1960年代後半『新3種の神器』
いざなぎ景気時代にカラーテレビ、
クーラー、自動車 が『新・三種の
神器』として宣伝され、当時の庶民
の憧れの商品に。

そのころ



高度経済成長期(1955～)

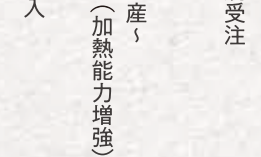
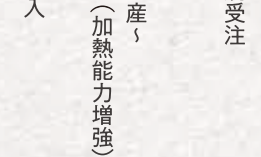
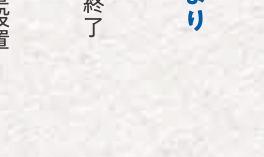
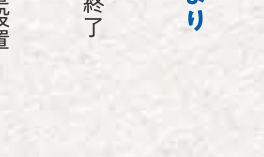
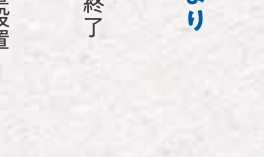
バブル景気(1986-1991)

日本鍛工の歴史

主な沿革

拠点・施設・設備の変遷

1990年(平成2年)～ 2000年(平成12年)～ 2010年(平成22年)～ 2020年(令和2年)～

飛躍期						挑戦期																																																																																																																													
1991	1992	1994	1995	1997	1998	2001	2002		2008	2009		2010		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2019	2020		2022	2024	2025																																																																																																								
売上100億円を達成						就任 酒井幸夫社長 よる被災 阪神大震災に 記念式典開催 創業70周年						柴柳会長就任 マツダ品質保証優良認定を授与						2001 再建計画発表 宮本正彦社長就任 ファミリークラブ売却 (大証2部上場廃止) 大同特殊鋼100%子会社化						南省次社長就任 臨時休業 リーマンショックにより 生産量1000t/月						川重ガスタービン ベーン生産(非自動車分野、フル工程生産への技術開発 S40プレス (非自動車分野、ダイキン) 洗車用シリンドラー受注						東日本大震災により生産調整 S40プレス 輸出コンロッドの終焉 アキツ機械(子会社) 事業撤退 創立90周年記念式典						野口裕明社長就任 (休業及び不休災害ゼロ) 暦年完全無災害達成						自動車用クランクシャフト新規受注 三菱自動車工業殿向け 従業員ユニフォーム刷新						働き方改革スタート (ミッション用シャフト他) 加工部門、新製品量産開始						1500t/月に3年振り回復 受注・生産レベル、コロナ前の 20/上受注680t/月 コロナ影響により						健康経営優良法人認定 S40プレス初工程KO改造						創業100周年記念式典 製造可能範囲拡大、 S40プレス初工程KO改造																																																											
1992	1993	1994		1999	2000	2001		2002	2005	2006		2010	2015	2016	2017	2018		2019							2020						2025																																																																																																				
2A35プレスにロボット導入						新金型工場稼働						第1鍛造工場竣工						(A40) プレス稼働 A4000t						近畿ビル売却						完全自動化 N20ライン						(LH4) 稼働開始 油圧ハンマー						加工事業開始 デフギヤ						孔明け機設置 デフギヤ加工ライン						3次元自動測定器導入						A40ライン合理化(加熱能力増強)						作業環境改善 熱処理油煙回収装置設置 非接触3次元測定機導入						ロボット用部品新規受注 ナブテスコ殿向け						2017 東日本大震災により生産調整						2018 輸出コンロッドの終焉						2019 従業員ユニフォーム刷新						2020 働き方改革スタート						2025 健康経営優良法人認定						2025 創業100周年記念式典																							
																																																																																																																																			
プレスにロボット導入						新金型工場稼働						第1鍛造工場竣工						(A40) プレス稼働						近畿ビル売却						完全自動化 N20ライン						LH4 油圧ハンマー						加工事業開始						孔明け機						3次元自動測定器導入						A40ライン合理化(加熱能力増強)						作業環境改善						熱処理油煙回収装置設置						非接触3次元測定機導入						ロボット用部品新規受注						ナブテスコ殿向け						2017 東日本大震災により生産調整						2018 輸出コンロッドの終焉						2019 従業員ユニフォーム刷新						2020 働き方改革スタート						2025 健康経営優良法人認定						2025 創業100周年記念式典					

平成

令和

そのころ



祝 創業100周年記念式典

2025年11月14日(金)、都ホテル尼崎にて創業100周年記念式典が執り行われました。来賓・参加者あわせて124名が出席し、節目の年にふさわしい盛大な式典となりました。当日は、これまでの歩みを振り返りながら、次の100年に向けた決意を新たにする心温まるひとときとなりました。



式典後には、記念パーティーを開催しました。
会食を楽しみながら交流を深め、さらにビンゴ大会や
マジックショーなども行われ、終始笑顔があふれる華やかなひとときとなりました。

100年の歴史を支える技術と人

100年の歴史に裏打ちされた技術と、日々挑戦を続ける社員一人ひとりの情熱が、
今日も高品質な製品を生み出しています。日本鍛工8部門の社員が一丸となって、
これからもモノづくりの未来を支えていきます。



切断

鋼材受け入れ～切断 製造工程のはじまりは ココから！

- ・丸棒を必要な長さにカットし、鍛造部門にタイムリーに供給しています。
- ・シャー切断機2台とメタルソー(鋸)2台保有しています。
- ・メタルソーラインは自動化も進んでおり、夜間は無人で操業しています。
- ・60歳を超えたベテランも元気に活躍中！



鍛造

ものづくりの喜びを 次世代に伝える！

- ・1250℃に熱した鋼材を自在に変形させ製品を造ります。
- ・2,000トン～4,000トンの大型プレスを保有しています。
- ・0.5kgのコンロッド～20kgのクランクまでの小ロット多品種を、「いかに効率よく良いものを生産するか」を最大のテーマに日々生産活動に取り組んでいます！
- ・知恵を出し合い、ものづくりの喜びを日々実感しながら元気に働いています！



熱処理

目に見えない変化を敏感 に感じ取る感性を磨く！

- ・鍛造品の強度や耐久性を向上させるために、加熱と冷却を組み合わせた熱処理を実施しています。
- ・鍛造品に熱処理を施し、強さ・硬さ・粘りなど求められる性質を付与しています。
- ・見えない内部を管理するため、設備状態や温度の変化に細心の注意を払い、日々取り組んでいます。



検査

検査工場は 品質保証の最後の砦

- ・お客様の要求品質を満たすため、妥協することなく日々取り組んでいます。
- ・検査機器、治具、人による目視を駆使して、どんな小さな欠陥も見逃しません。
- ・検査結果を製造部門にフィードバックすることで、品質改善にも貢献しています。



機械加工

1秒、1個を 大切に！

- ・部門発足から23年。まだ歴史は浅いながらも、確かな歩みを続けています。
- ・他部門よりお客様に近く、厳しい管理が必要な部門です。
- ・社内鍛造に加工で付加価値を付け収益増、受注拡大を目指しています！



金型

技術と情熱で、 最高の金型を！

鍛造部門で、熱間で使用する
金型をすべて社内製作しています。

- 【加工部門】大型マシニング4台、放電加工機3台をひとり複数台掛け持ちし、最大の生産性を目指し日々努力しています。
- 【整備部門】複雑な構造の金型を組み込んだり、再使用予定の金型の修正、溶接補修が主な仕事。匠の技術を駆使し日々取り組んでいます。



設備

技術と心を込めた “改良・保全”を実施！

- ・保有するあらゆる設備機器の改良・保全を計画的に実施しています。
- ・製造部門の困りごとを共有し、改善・合理化等を推進しています。
- ・6名の少数精鋭ですが、日々勉強しながら活動しています。



事務所

部門の垣根を越えて 様々な問題を解決、 会社を良くしていきます！

- 【営業】お客様にご満足いただける製品をお届けできるよう、お話を伺い社内へ反映します。
- 【製造】より良い製品を効率よく製造するために、日々現場改善を行っています。
- 【管理】従業員が働きやすい職場づくりのために日々活動しています。



日本三古湯のひとつ、
太閤秀吉お気に入りの名湯。

有馬温泉

横浜・長崎と共に
日本三大中華街の一つ。

元町中華街『南京町』

阪急電鉄

夙川の両岸2.8kmに
1,660本もの桜が咲きほこる
『さくらの名所100選』の地。

夙川公園

阪神高速

神戸ポートタワー

みなと神戸のランドマーク。
世界初のパイプ構造。

神戸空港

日本鍛工

ハリウッド映画をテーマにした
大人気テーマパーク。

大阪関西万博会場

毎年100万人以上の観客を
動員する宝塚歌劇の専用劇場。

宝塚大歌劇場

大阪国際空港

えべっさんの
総本山。

西宮神社

阪神電車

梅田スカイビル

大阪梅田のシンボル。
宮中庭園からの絶景は
一見の価値あり。

JR大阪環状線

京阪電車

『くいだおれ』の町の中心地。かに道楽、
グリコなど巨大立体看板が有名。

道頓堀

大阪城

戦国武将・豊臣秀吉が築城した、
日本を代表する名城。

あべのハルカス

高さ300mを誇る
超高層複合ビル。
天空回廊からの景色は絶景。

通天閣

数多くの映画にも登場した
大阪のシンボル。
展望台には「ビリケンさん」。

近鉄電車

日本鍛工創業の地
『旧恩加島鉄工所』
1924年、日本鍛工の歴史は
ここから始まりました。



南海電鉄
至和歌山

尼崎中央商店街

尼崎の台所。阪神タイガースの
「日本一早い優勝マジック」
点灯ボードが有名。

阪神甲子園球場

日本鍛工と同じ1924年に
開場した日本最古の野球場。

尼崎城

日鉄鋼板SGL
スタジアム尼崎

25年3月開場の
阪神タイガース2軍野球場。

日本鍛工

尼ロック

巨大な水門で尼崎を水害から守る。
映画『あまろっく』の舞台。

日本鍛工 おすすめスポットMAP

日本鍛工がある尼崎とその周辺は、観光スポットが
もりだくさん!当社にお越しの際には、ぜひ足を
延ばしてみたいはいかがでしょうか!



至奈良

至三重